

# 連文

R E N B U N



Vol. **102**  
2017.1



久留米市美術館オープン

平成28年度久留米市表彰

花柳光君三年祭追善

はなぶさ会舞踊会

「口誌」報告 report

第63回 桃清忌俳句大会

第36回 連文会員華道展

第70回 久留米茶道連合会大茶会

洋楽部演奏会 音楽の贈り物

# とき・ひと・美をむすぶ美術館

## 久留米市美術館オープン

11月19日、石橋美術館の60年の歴史と活動を引き継ぐ形で、「久留米市美術館」がオープンしました。開館式では、初代館長の榎原利則久留米市長が、石橋財団の石橋寛理事長、別府好幸市議会議長とともにテープカットを行い、それにあわせて子どもたちがバルーンリリースで花を添えるなど、多くの市民が一緒に開館を祝いました。

美術館では、開館を記念して、同館のコンセプトでもある九州をテーマにした2つの展覧会を1月22日まで開催しています。

また、美術館の開館と同時に「石橋正二郎記念館」も開館しました。同館は、(株)ブリヂストンの創業者で市の発展に大きく貢献した石橋正二郎氏の足跡や人となり等を紹介する施設で、全国初の一般公開施設となります。

久留米市美術館は、石橋正二郎氏の「世の人々の楽しみと幸福の為に」という崇高な理念と石橋美術館の歴史と伝統を引き継ぎながら、「とき・ひと・美をむすぶ美術館」という新たなビジョン



のもと、改めて美術・芸術との出会いや人々の交流を大切にし、これからもより一層、来館者の皆様に愛され、親しまれるような美術館を目指してまいります。そして、石橋文化センター全体を一つのミュージアムとして捉え、季節の花木に彩られる園内で四季折々に開催されるイベントとの連携、さらには、若い世代による創作活動等を通して、美術に触れる楽しさを伝えていきます。

久留米市美術館の今後にご期待いただくとともに、皆様のご来館を心よりお待ちしております。



### 開館記念展

〔平成28年11月19日～平成29年1月22日〕  
本館2階では、「2016ふたたび久留米からはじまる。九州洋画」を開催中です。九州にゆかりのある65人の洋画家の作品108点を、久留米市出身の俳優吉田羊さんの音声ガイドにより紹介しています。そして、1階では、九州各県の名所や見どころをダンボールの遊具で再現し、遊びながら地理や文化を学べる「九州をあそぼうダンボールアート遊園地inくるめ」を開催中です。

### 次回展覧会

〔平成29年2月4日～3月20日〕  
「生誕140年 吉田博」展を開催します。久留米市出身で、明治から昭和にかけて風景画の第一人者として活躍した吉田博の大作回顧展です。千葉市美術館、郡山市立美術館で大きな反響を呼んだ展覧会で、九州では久留米市美術館のみ開催となります。

(久留米市市民文化振興課)

# 平成28年度 久留米市表彰

11月3日、久留米シティプラザ 久留米座で市表彰式が行われました。市の振興発展に長年にわたって貢献した市功労者が表彰されました。また、優れた芸術活動に取り組み、今後の活動が期待される人に芸術奨励賞が贈られました。連文会員で受賞された皆さんをご紹介します。

## 市功労者

### ■俳句部 谷川 章子



20歳の医学生の際、学内の俳句会に入ってから始めた俳句を続け現在に至っています。昭和39年に当地に移り住み、久留米の風物に親しみ、連文会員になりました。からは、会の活動に参加し、お陰様で生き甲斐のある日々を過して参りました。もう古くなった句集「水かげろふ」に私の生涯の一端が留められています。俳誌「ホトトギス」同人。日本伝統俳句協会会員。国際俳句交流協会会員。「さわらび」会員。

### ■日舞部 花柳 津祢里



花柳流師範・久留米ちくご大歌舞伎歌舞伎指導。日本舞踊三世宗家元花柳壽輔、人間国宝花柳寿南海に師事。歌舞伎人間国宝二代目中村又五郎、十代目坂東三津五郎

に師事。日本舞踊家として海外公演にも参加。文化庁親子歌舞伎教室、博多座歌舞伎公演の子役指導、洋楽等とのコラボレーション、講演等で活動。

平成13年久留米市芸術奨励賞受賞。

## 芸術奨励賞

### ■洋画部 吉武 弘樹



略歴／1982年福岡県久留米市生まれ。2009年東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。2011年東京芸術大学美術研究科修士課程絵画専攻修了。

受賞歴／2009年東京芸術大学卒業

制作 台東区長賞 平山郁夫賞。2015年 第4回青木繁記念大賞 西日本美術展 テレビ 西日本賞、シエル美術賞展 2015 オーディエンス賞。2016年 第51回昭和会展 昭和会賞、アートムーブコンクール2016 大阪府知事賞。

展覧会歴／2016年 第51回昭和会展 昭和会賞 受賞。個展『2016てんまやアートフェア』(岡山国際ホテル、岡山)。

### ■工芸部 中園 唯



1986年生まれ、久留米市在住。九州造形短期大学デザイン科クラフトコース、佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程、九州産業大学芸術学部美術学科にて、染や織をはじめ幅広く繊維表現を学びました。現在は、九州産業大学芸術学部の助手として勤務する傍ら制作活動を行っています。

制作中は作品と孤独に向き合うものですが、この度の受賞は、沢山の方々からご縁・ご助力を賜っていたことを実感するとともに、様々な垣根を超えて人を繋いでくれる芸術の素晴らしさ、奥深さを再確認することが出来ました。この感謝の気持ちを胸に、今後も精進して参りたいと思います。

### ■書道部 堤 裕子



この度は、久留米市芸術奨励賞誠にありがとうございました。これまで支えて下さいました皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

ます。

平成4年に久留米連合文化会会員となり、子供達に書を教える傍ら、平成17年10月より正筆会で自らの勉強をもう一度始めました。

平成21年、福岡県美術協会の会員となり、幸運にも今年、日本書芸院大賞、読売新聞社賞、日展入選(2回目)と賞を頂くことができました。この流れで久留米市芸術奨励賞を頂きました事、大変有りがたく感謝の一言につきまます。これからは「書」を次の代に伝える為、微力ながら精進してまいります。これからもよろしくお願いたします。

### ■洋舞部 上野 都



社交ダンスのプロに転向し約30年、競技ダンス一筋、全国ランキングA級を取得し、英豪等で勉強を重ねワールドトロフィー全日本ラテン5位、ラテンJDC九州優勝、ボールルーム準優勝、95年現役を引退し現在は東町天神ダンススクールにて幼小中高生はじめ高齢者まで指導しております。今後は社交ダンスを通じて、健康で若さを保ち、音楽を楽しみ、生き甲斐のある人生を送って頂く手助けができればと思っております。

花柳光君追善・はなぶさ会舞踊会が『久留米シティプラザオーピングシリーズ「晴レ舞台」24』として、8月21日、久留米シティプラザグランドホールで開催された。

早朝にもかかわらず会場大階段前には列ができ、いやおうなしに舞踊会への期待が高まっていた。

エントランスホールに飾られた光君先生の舞台写真や生花が会場の華やかさを演出し、開場と同時に一、二階の客席はほぼ満席の状態となった。

番組は「鶴亀」「浦島」「手習子」「三ツ面子守」「山姥」「藤娘」「時代へつなぐ日本の踊り 菊づくし 黒田節 さくらさ

## 花柳光君三年祭追善

## はなぶさ会舞踊会

くら「光君を偲ぶ」関の扉「江戸風流」  
「鶯娘」「賤の小田巻」「独楽」「車」「男女道成寺」と多岐にわたり、各世代が舞い踊る。舞台は演目が終わるたびに、書割、大道具、小道具が入れ替わり、公演の規模を物語る。

そして、花柳三枝君先生は何よりの親孝行として大曲「関の扉」「男女道成寺」を踊り、舞台は「江戸風流」「車」へと続いていく。



あらし」と夢想的に舞い踊る。その背後では二十三人の唄、三味線、囃子の地方が絶妙の演奏で立ち方を支える。

そしておとりで演じられた「男女道成寺」では白拍子花子と狂言師が、一人で、あるいは一緒に踊る中、幼児から壮年に至るまでの十五人の演者が絡んでいく。

この大団円のフィナーレは花柳光君先生がかつて見たかった初夢、「三つ子の魂百まで」と言われている中で、子供たちの瞳を輝かせる本当の伝統芸能を継承していく、ということに繋がっているのではないだろうか。

(広報委員会・隈恭徳)

## 洋楽部演奏会

### 「音楽の贈り物」

洋楽部では、11月23日(祝)に久留米シティプラザ久留米座でコンサート「音楽の贈り物」を開催しました。



第1部は田本春香によるソプラノ独唱(ピアノ宮田玲子)、稲吉えりなによるオーボエ独奏(ピアノ長谷川ゆか)、上野あきほ(ソプラノ)椎山克己(クラリネット)原浩美(ピアノ)のトリオ、ムジカ・ソナレ・アンサンブルによる弦楽合奏、第2部は久留米児童合唱団(指揮・樋口豊)と混声合唱団くるめ市民コール(指揮・木村清吾)の合唱と多彩なプログラムで行い、約200名の来場者に秋のひと時を音楽で楽しんでもいただきました。

(洋楽部・椎山克己)

## 北筑後ブロック音楽祭

10月30日(日)、久留米シティプラザ久留米座で北筑後ブロック音楽祭が行われました。第1部ではサンサンスやショパン、バッハ等の曲が新進の演奏家により披露され、第2部では服部良一や大中恩、團伊玖磨等の曲が地元合唱団により歌われました。満席の聴衆から暖かく惜しみない拍手を頂きました。来場のお客様も大変感動され、クラシックや合唱を身近に感じられたと思います。

(事務局・中井和広)



### 第36回 連文会員華道展

今年の花展は、暑さと台風接近とで慌しい幕開けとなりました。岩田屋新館4階の会場で前期8月31日(水)から3日間後期9月3日(土)より5日(月)までの6日間、会員85名12流派でそれぞれの思いを作品にこめて、会場に華やかさと、季節感をそえたものが出来上がりました。

お客様から毎回見にくるのが楽しみですと、嬉しいお声も頂き、ジュニアのコーナーも好評で「私も来年は出した」と言う子どもさんのお友だちも見にこられて、見ることから活ける事につながると感じました。

又、会場構成等にはマンネリ化にならぬ様に、毎回意見を出して決め、公平になる様に心がけています。

今、和の文化が高い関心を呼んでいます。

### 第20回 下水道フェア呈茶席

9月22日(木)、下水道フェアが安武町の南部浄化センターで開催されました。連文茶道部として12時30分より15時まで呈茶席を設けました。午前中は雨がぱらつくという日でしたが午後は200名からの大勢のお客様においでいただきま

す。私たちお花をケイコしているものも「和」の魅力とはなにかと言うことでお花にかぎらず、いろいろな場面に向かっていけたらと思います。

(華道部・田中千舟)



した。普段なにげなく使っている水はまたここできれいにして川に戻されているということを感じて感ずる日でもありました。今回は江戸千家久留米不白会が担当いたしました。

(茶道部・森田宗尚)

### 第70回 久留米茶道連合会大茶会 (法要茶会)

11月13日(日)、梅林寺に於ける物故会員の施餓鬼法要。続いて各流それぞれ茶席を設けての法要茶会。天候に恵まれ今年も500名を超える参加者があり、会場は終日抹茶の香りに包まれました。

(茶道部・草場宗玲)



### 第14回 青木繁生誕記念茶会

青木繁旧居において、連文茶道部 江戸千家久留米不白会による生誕記念茶会を開催しました。今回14回目となる催しで、例年7月の誕生日前後に行っておりましたが、今年は海の幸のレリーフ寄贈の関係で、8月7日(日)となりました。猛暑の中お出掛け頂いた、約120名にテーブル茶の設えで、冷茶をふるまいました。皆様愉しんでいただいた様子、有意義な催しであったと思います。

(茶道部・黒岩宗彌)

### 諸石祥雲退職記念書作展

7月27日(水)から8月1日(月)まで、久留米シティプラザ2階展示場で、「諸石祥雲退職記念書作展」書と大島紬・ステンドグラスの「コラボ展」を開催しました。



今回の書作展は久留米市立高校38年間の書道教育の一つの区切りとして、又久留米シティプラザの開館を記念するもので、3年前から計画し、書き溜めた作品140余点を展示させていただきました。表具も大島紬を使った額や屏風衝立やステンドグラスをはじめ込んだ屏風など鑑賞していただく方々に喜んでいただくよう工夫を凝らしました。御陰様で連文の会員の方々など1200名余りの方に来場いただきました。ありがとうございました。これを機に益々書作活動を充実させてまいります。

(書道部・諸石祥雲)

## 第63回 桃青忌俳句大会

11月23日(祝)、御井校区コミュニティセンターで開催致しました。

選者3名の特選句(◎)・佳作句は次の通りです。

小川順子選

◎先達のつなぐ絆や芭蕉の忌

大坪久美枝

続けきしことの重さや芭蕉の忌

大坪久美枝

俳縁を深める一と日翁の忌

大日方明美

谷川章子選

◎句会もて修す一と日や翁の忌

黒田充女

先達のつなぐ絆や芭蕉の忌

大坪久美枝

芭蕉忌として行く今日の山路かな

野口桂子

黒田充女選

◎時雨忌や容易き道は無きものと

西山恵二

笹鳴も山の景色に加はりぬ

小川順子

初参加なる人もあて翁の忌

吉田いずみ

(俳句部・黒田充女)



### 子ども夏休み習字教室

8月22日(月)～23日(火)午前9時30分から12時30分まで、石橋くるめつ子館にて開催。

久留米市内の小中学生を対象に夏休みの宿題を手伝う目的で開いた。多くの希望者があり生徒も保護者も熱心に取り組んだ。次回も「墨っ子集まれ!!」と呼びかけていきたい。

(書道部・元谷京子 中川勝詔)



## 第2回 日吉神社観月茶会

裏千家淡交会  
久留米支部



10月15日(土) 第2回日吉神社観月茶会を夕方5時より、和ロソクと小形卓上ランプを灯して行いました。拝殿と境内での二席の席を設けまして電気を使わずに月見の雰囲気が出せる様にいろいろ苦心致しました。生憎満月の月が顔を出してくれませんでした。少しは日常と違った幽玄な雰囲気味わって下さった事と思います。

室内と室外との又違った雰囲気茶席をも楽しんで下さった事と思います。拝殿を使わせて頂きました宮司様には、感謝の想いで一杯ございました。次回も、参加したいと言ってお声も聞けて嬉しい事でした。お客様は、350名ほどでした。  
(茶道部・北島宗美)

## 第23回 賢順記念全国箏曲祭

23回目を迎えた全国箏曲祭、箏曲というのは、おことで演奏される曲のことで「ぞうきよく」といいます。

そして、賢順記念の賢順(けんじゅん)とは今から500年ほど前に久留米市の善導寺にいた僧の名前です。

この方が雅楽の伴奏楽器だったおことから独奏できる音楽の筑紫箏というものにした方で久留米は箏曲発祥の地なのです。

賢順を顕彰して全国最高レベルの箏曲コンクールと、日本を代表する生田流、山田流それぞれの演奏家、今年人間国宝である富山清琴

先生と宮下伸先生の演奏を聴かせていただきました。

地元の箏曲演奏は善導寺ことクラブと久留米三曲協会の演奏があり、1日を通しておことの魅力あふれるすばらしい箏曲祭となり、多くのお客様にご来場いただきました。

(邦楽部・岩村雅楽美姫)



第1回  
**久留米ジュニア  
文芸大会表彰式**

11月6日(日)、久留米シティプラザCボックスにて開催。

短詩型文芸(詩・短歌・俳句・川柳)

の作品を、小・中・高校生から募集した。応募1095人、1353首・句。

連文会員により、小学生低学年、同高学年、中学生、高校生の区分で、特選12、入選36、佳作120を選考した。

表彰式は、特選、入選の48人を表彰し、保護者8人の出席もあつて盛会であつた。  
(川柳部・堤日出緒)



第63回  
**歳末助け合い茶会**

裏千家淡交会久留米支部

12月11日(日)に歳末助け合い茶会を久留米シティプラザで行いました。

和室は8席500名強、会議室は11席500名弱のお客様でした。

(茶道部・北島宗美)

スタジオ・ダンスドリーマー  
25周年記念「夢」

7月30日(日)17時30分、久留米市民会館(大ホール)にて開催。(主催:スタジオ・ダンスドリーマー代表:城戸玲子)



1991年から、がむしやらに突き進んで25年の月日が経ちました。久留米市民会館閉館前日に、沢山のお客様と共に幕を下ろすことが出来て幸せでした。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって歩いていきたいと思えます。

(洋舞部・城戸玲子)

**ふるさと**

**日本の名曲 in 久留米**

日本をそして故郷を愛した北原白秋や山田耕筰・團伊玖磨の名曲を中心に、県内で活躍している音楽家と地元合唱団とのジョイントコンサートを、10月9

フジタバレエ研究所  
第19回 研究生発表会

8月11日(祝)、石橋文化ホールにて、研究生がお稽古で学んだことをご披露する場としての研究生発表会を開催いたしました。

5ヶ年修了の研究生の表彰式を行い、5ヶ年から20ヶ年修了者の69名が一人踊りをご披露しました。同学年とのお友達と心をひとつにしてグループで踊り、上級生は男性のバレリーノとパ・ド・ドウを踊るといふ長時間ではありませんが、バラエティに富んだプログラムにより8時間におよぶ舞台の幕を降ろしました。  
(洋舞部・藤田瑠理子)



第14回  
**木村フォトセミナー写真展**

10月12日(水)～16日(日)、えくるピア久留米市民ギャラリーにて開催。



連文写真部木村桂三委員が指導する写真サークル「木村フォトセミナー」の14回となる写真展を実施しました。今回も各会員12名がそれぞれのテーマを決めて、全紙3枚での組写真による写真展となりました。5日間で600名を超す来場者があり、遠くは熊本市、北九州市、福岡市などからの来場者もありました。会場では、来場者からのいろんな意見、質問等があり、会員にとって貴重な「学習の場」となりました。  
(写真部・川島幹夫)

日(日)、石橋文化センター共同ホールで開催しました。第1部では滝廉太郎や海沼實、岡野貞一の曲が地元の演奏家により演奏されました。第2部では山田耕筰の曲を久留米児童合唱団が歌い、最後に丸山豊作詞・團伊玖磨作曲の混声合唱組曲「筑後川」より、銀の魚、川の祭、河口を、福岡の演奏家と地元合唱団でのジョイント演奏をしました。お客様から「大変感動しました。このような演奏会を時々開催してほしい」との声が寄せられました。  
(事務局・中井和広)

平成28年 8月～12月

諸石祥雲退職記念書作展	7/27(水)～8/1(月)・久留米シティプラザ展示室
25周年ダンスギャザリング「夢」	7/30(土)・久留米市民会館
第45回水の祭典久留米まつりに参加(総合文化部)	8/4(木)・明治通りおまつり広場
第14回青木繁旧居茶会(江戸千家久留米不白会)	8/7(日)・青木繁旧居
フジタバレエ研究所第19回研究生発表会	8/11(祝)・石橋文化ホール
花柳光君先生追善はなぶさ会舞踊会	8/21(日)・久留米シティプラザ・グランドホール
大内田敬・弥富節子二人展(個展)	8/30(火)～9/5(月)・岩田屋三越美術画廊
第36回連文会員華道展	8/31(水)～9/5(月)・岩田屋久留米店
久留米吟詠道連盟第57回吟剣詩舞道大会	9/4(日)・石橋文化センター共同ホール
第18回薫園墨の会(古川教室)	9/7(水)～11(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
大日本茶道学会福岡地区研修会	9/10(土)～11(日)・大濠公園日本庭園
あたらしい風音(ひびきの会)	9/11(日)・えーるピア久留米視聴覚ホール
めくるめく演劇祭(市民劇団「ほとけ俱樂部」)	9/15(木)～16(金)・久留米シティプラザ久留米座
第20回下水道フェア呈茶(江戸千家)	9/22(祝)・南部浄化センター
音楽劇 悲劇の天才画家 青木繁	9/24(土)～25(日)・石橋文化センター共同ホール
第52回久留米三曲協会定期演奏会	10/2(日)・石橋文化センター共同ホール
日本の曲ふるさとの歌 in 久留米	10/9(日)・石橋文化センター共同ホール
第14回木村フォトセミナー写真展	10/12(水)～16(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
第28回南祥会書作家展	10/12(水)～16(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
高良大社献茶(表千家不白流九州支部(野点)	10/15(土)・高良大社
日吉神社観月茶会(裏千家淡交会久留米支部)	10/15(土)・日吉神社
中川靈仙追善茶会(大日本茶道学会)	10/16(日)・護国山国分寺
北筑後ブロック11文化団体音楽祭	10/30(日)・久留米シティプラザ久留米座
ジュニア文芸大会(表彰式)	11/6(日)・久留米シティプラザCボックス
日吉神社献茶(表千家不白流九州支部(野点)	11/11(金)・日吉神社
第70回久留米茶道連合会法要大茶会	11/13(日)・梅林寺
連文コンサート「音楽の贈り物」	11/23(祝)・久留米シティプラザ久留米座
第63回桃青忌俳句大会	11/23(祝)・御井校区コミュニティセンター
第63回歳末助け合い茶会(裏千家淡交会久留米支部)	12/11(日)・くるめりあ六ツ門6階
青木繁旧居 生け花展示(草月流万年青会中野松芳社)	通 年・青木繁旧居
JR久留米駅 生け花展示(小原流 草月流 嵯峨御流/毎週交代)	通 年・JR久留米駅構内

平成29年 1月～7月

文推協ニューイヤークンサート	1/8(日)・萃香園
連文役員新年会	1/28(土)・ホテルマリアーレ創世
久留米座舞台披露記念公演(喜多流)	1/22(日)・久留米シティプラザ久留米座
久留米謡曲連盟謡曲大会	1/29(日)・久留米シティプラザ久留米座
久留米文学第63号	1/31(火)原稿締切
第15回ジュニア青木繁展(絵画・書道)	2/8(水)～18(土)・久留米市役所2F
久留米市総合美術展	3/8(水)～26(日)・久留米市美術館
美術文芸コラボ展	3/8(水)～26(日)・久留米市美術館
青木繁旧居華道展(草月流万年青会中野松芳社中・八尋峰子(芸芸部))	3/17(金)～19(日)・青木繁旧居
第64回けしけし祭	3/19(日)・かぶと山
久留米がすりのうた	3/19(日)～26(日)・久留米シティプラザ
茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/20(祝)・坂本繁二郎生家
玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部(野点)	4/9(日)・玉垂宮
第52回文茶道部大茶会	4/16(日)・久留米シティプラザ
久留米文学第63号発行	5/1(月)発行
水天宮献茶(表千家不白流九州支部(野点)	5/3(祝)・水天宮
向坂万基子乃絵と器展	5/23(火)～28(日)・ギャラリーアールグレー
平成29年度連文定期総会・祝賀会	5/27(土)
学校茶道合同茶会(裏千家淡交会久留米支部)	6/11(日)
第51回仲繩忌俳句大会	6/27(火)・遍照院・えーるピア久留米
仲繩忌供茶(裏千家淡交会久留米支部)	6/27(火)・遍照院
青木繁旧居 生け花展示(草月流万年青会中野松芳社)	通 年・青木繁旧居
JR久留米駅 生け花展示(小原流 草月流 嵯峨御流/毎週交代)	通 年・JR久留米駅構内

**改組新日展第3回 平成28年度 入選**

江口 登洋画 井上泰三(書) 仲正彦(彫刻)

田中 慧(洋画) 堤 裕子(書)

本村 浩章(洋画) 成清マリ(書)

久留米市美術振興基金に150万円寄付しました。

**第72回福岡県美術展覧会入賞**

県文化団体連合会賞 今里秀蘭書 漢字

八女市長賞 中島妍翠書 漢字

**訃報** (平成28年7月～12月) 謹んでご冥福をお祈り致します。

境 宏子さん (短歌部) 平成28年5月18日 矢田 小市さん (短歌部) 平成28年9月7日

瀬戸 秀夫さん (洋画部) 平成28年6月1日 鬼木 展樵さん (茶道部) 平成28年10月29日

相浦 勝子さん (書道部) 平成28年9月1日